

バイオなどの新技術と学際的研究で循環的未来と地域貢献を

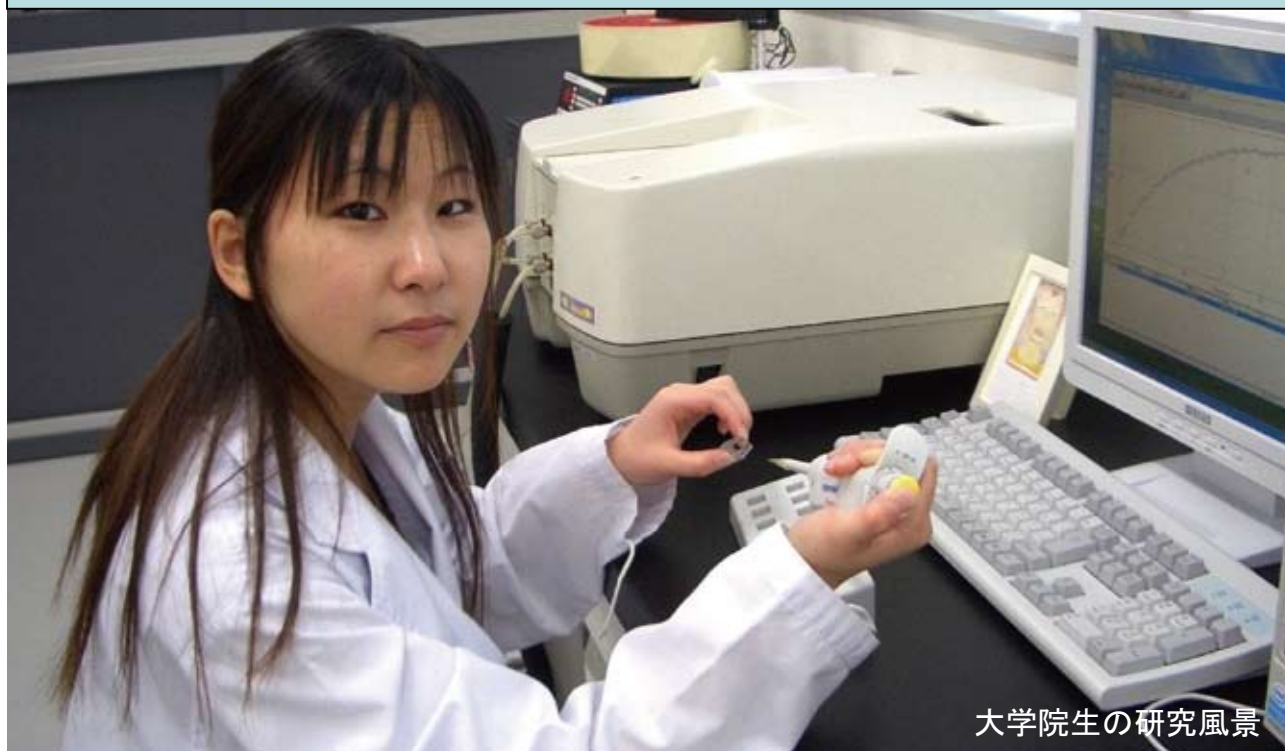
No. 8

# Ishikawa Prefectural University NEWS

石川県立大学広報

2009.5

## 平成21年4月 石川県立大学大学院開設



大学院生の研究風景

### 本号の内容

- 学長就任挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 大学院開設・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 入学式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 前学長退任挨拶・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 卒業研究発表会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 卒業式・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
- 学内プロジェクト実績発表会・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 第4回響緑祭・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 4
- 学生生活・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 最終講義・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 卒業生進路・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6
- 平成21年度入学試験状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 6

発行 石川県立大学広報委員会  
みなさんのご意見をお待ちしています

〒921-8836 石川県石川郡野々市町末松 1 丁目 308 番地  
電話 / 076-227-7220 FAX / 076-227-7410

インターネットホームページ <http://www.pref.ishikawa.jp/ishikawa-pu/> 電子メール [kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp](mailto:kyoumu@ishikawa-pu.ac.jp)

## 学長就任挨拶

石川県立大学学長  
松野 隆一



開学以来、一周年目の新入生を迎え、さらに大学院生物資源環境学研究所、博士前期課程、後期課程同時開設の大変重要な時期に学長を拝命しましたこと、大変光栄でありますと共に、責任の重大さに身の引き締まる思いをしております。誠心誠意、任を果たす所存です。

本学の基本理念、教育研究の目標は、ホームページ、学生便覧等に示してあり、それにそって教育研究を推進しますが、大学院生物資源環境学研究所を開設するにあたり、構想専門委員会を設け、改めて生物資源環境学という学問の基本理念を真剣に検討していただきました。

生物資源環境学の目指すところは、人類の、精神的に豊かで安定し、生き生きとした持続的社會を構築することです。そこで、20世紀後半の科学技術文明を振り返ってみると、自然を改造し征服することが人類の進歩であるとする価値観に基づき、飛躍的な生産性の向上、情報技術革新などを達成したのですが、残念なことに、食料、水資源の不足、地球規模の環境破壊、資源枯渇、市場原理主義がもたらす人間性の喪失等々が、解決されるべき難問題として我が国ばかりでなく国際的に共通認識されるに至ってしまいました。

そこで、まず、人間が自然を改造する価値観から、**人間が自然と共生・共存する新しい価値観**を創造していく必要があることが浮かびあがります。また、それらを支える科学技術は、科学技術一辺倒でなく、人間性のこもった科学技術、昔の言葉でいえば、道徳でなければならないことも明らかです。このことを、「**理（ことわり）**」とよぶことにしました。

ここに私達が追求し、実践する「**生物資源環境学**」は、人間と自然が「**共生・共存の理**」を追求し、実践していくことであるとの理念に到達したのです。さらに、「**共生・共存の理**」は、「**生物の理**」、「**自然の理**」、「**人間の理**」の追求を総合化して達成されるのです。石川県立大学のこの理念の、独創的なところは、単なる学問でなく、上述のような意味を持った「**理（ことわり）**」としたところにあります。さらに、「**理**」は、哲学という意味も持つので「**共生・共存の哲学**」を追求、実践することでもあります。

このような理念のもとに、大学院の教育と、院生と協同した研究を強力に押し進め、その成果を学部教育に還元するという良循環を形成したいと思っております。研究としては、地域貢献を強く意識し、地域貢献の中に独創のシーズを探求します。石川県立大学を、勉学や活動に目を輝かせる学生、自分よりすぐれた人材を育て研究に渾身の力を込める教員、優れた大学の構築の支援に生き甲斐をもつ職員の集団としたいと願っています。

## 大学院開設

より専門的で高度な知識を習得した理系人材育成への社会のニーズに応えるため、石川県立大学では、平成21年4月1日に石川県立大学大学院を開設しました。「共生・共存の理（ことわり）」を追求するため、大学院では生物資源環境学研究所が設置（博士前期課程2年、博士後期課程3年）され、博士前期課程は生産科学専攻、環境科学専攻、食品科学専攻、応用生命科学専攻の4専攻、博士後期課程では自然人間共生科学専攻、生物機能開発科学専攻の2専攻からなります。博士前期課程の学年当たりの募集定員は各専攻定員8名の計32名、博士後期課程の定員は同様に各専攻定員4名の計8名です。



大学院棟

## 平成21年度入学式

平成21年4月6日、本学体育館において136人の学部新入生（1年生132人、3年次編入生3人、研究生1人）と、この4月に開設した大学院新入生33人（博士前期課程25人、後期課程8人）を迎えて入学式を行いました。合唱・吹奏楽部のリードで学歌を斉唱した後、新入生の氏名を読み上げ松野隆一学長が入学許可を発表。学部と大学院の新入生代表（食品科学科・吉田沙織、大学院食品科学専攻・山岡ちひろ）が、それぞれ「大学の教育方針をよく理解し、学業または学術研究に励む」旨を宣誓しました。

学長は「積極的な謙虚さをもって一途に」「希望を持って学問し、喜びを味わい、苦しみを乗り越え、自ら研鑽し、将来に向かって一途に突き進んで欲しい」などと訓示。続いて、大学設置者である谷本正憲県知事のあいさつ、来賓として粟 貴章野々市町長・大幸 甚石川県土地改良事業団体連合会副会長から祝辞をいただいたほか、石川県食品協会会長、石川県農業協同組合中央会専務理事、本学後援会会長にもご臨席いただき、169人が新たなスタートをきりました。



## 退任の挨拶

### 石川県立大学 前学長 丸山 利輔

学長を退任するにあたって一言御礼を申し上げたいと存じます。私は、石川県農業短期大学学長を含めまして、丁度10年間学長を務めさせていただきました。短大学長に着任したときにはすでに、石川県農業短期大学将来構想策定委員会（委員長岡田晃金沢大学長）の答申がござい、その後これを具体化するための、「石川県農業系大学基本構想策定委員会（委員長川島良治前農業短期大学学長）の答申が知事に提出されました。知事もこの方向を尊重することを明言されました。この方針の実現に向けて、熱い思いを持って短大時代から10年間大学運営にあたりました。教職員の皆様の御協力のおかげで、本年第1回の卒業生を社会に送り出すことが出来、大学院も修士課程、博士課程を同時に設立することができました。もし、本学の設置が1年遅れたならば、本学の実現も幻に消えたのではないかと感じております。石川県立大学のますますの発展を祈念し、お礼の言葉と致します。どうも長い間、大変お世話になりました。



## 卒業研究発表会

4年間の学びの集大成として、4年生各自が1年間取り組んできた卒業研究の成果を発表しました。発表会は、学科別に行われ、入念に準備したスライドを用いての渾身の発表会でした。また、活発な質疑が行われ、学会さながらの真剣な光景が繰り広げられていました。内容的にも、そのまま学術雑誌に掲載可能な高いレベルの発表があるなど、各学生の1年間の努力がうかがわれるよい発表会でした。

## 卒業式

平成21年3月21日（土）、本学初めての卒業式・学位授与式が体育館で挙行されました。

卒業生119名（生産科学科36名・環境科学科39名・食品科学科44名）一人ひとりに丸山学長から卒業証書・学位記（学士・生物資源環境学）が授与されました。在学生を代表して生産科学科3年・須郷速人が送辞を、卒業生を代表して食品科学科・前川沙耶が答辞を述べました。

また、合唱サークルのメンバーとともに、昨年できあがった本学「学歌」を一同が初めて斉唱しました。最後に、本学後援会からの記念品（卒業アルバム）が贈られ、式を閉じました。

式後は、学科ごとでの記念写真の撮影や、在校生が感謝とともに記念品を手渡したり、そして夕方からは後援会による卒業記念パーティーと、4年間の思い出を語る一日が過ぎました。



# 平成20年度学内プロジェクト研究実績発表会

学内提案型プロジェクト研究制度で、全学プロジェクト1件（継続）、教育改善2件、地域貢献5件、若手研究4件、学科等企画4件のプロジェクト研究が実施され、平成21年3月5日に成果発表会が盛大に行われました。



## 第4回響緑祭

「響緑」とは緑と響き合い、ハーモニーを奏でるイメージで、バイオと環境を謳う本学にとって象徴的な二文字であるとともに、協力・強力といった意味を含んでいます。響緑祭は、その名の通り、学生自治会が主体となって実行委員会を組織し、皆で協力して作り上げた石川県立大学の大学祭です。平成20年10月25、26日に開催されました。

開学4年目で、初めて1年～4年が揃った形の大学祭となり、大盛況でした。また、今回は、ステージや模擬店のみならず、学術展示や世界の様々なお米の紹介・お米の食味試験などの新しい催しが行われました。



JICAの協力で行った世界の様々なお米の展示



今年度から学術展示も始めました



恒例の野菜販売



吹奏楽部の演奏



模擬店 - 私たちの焼き芋最高!

## 学生生活

下表は、現在活動中のサークルです。軟式野球部が全国大会に出場するなど、部・サークル活動が活発になってきました。

名称	活動内容
軟式野球部	軟式野球
ソフトボール部	ソフトボール
テニスサークル	テニス
陸上競技部	陸上競技
バドミントン部	バドミントン
フットサル部	フットサル
男子バスケットボール部	バスケットボール
女子バスケットボール部	バスケットボール
男子バレーボール部	バレーボール
女子バレーボール部	バレーボール
弓道部	弓道
卓球部	卓球
フィールドクライミング	クライミング
Believe	ビリヤード
Auguste	ジャグリング・マジック
ダンス部(Hula)	ダンス
レジャー部	アウトドア
Fishingクラブ	釣り
合唱サークル	歌を唱うことを楽しむ
軽音楽部	軽音楽
吹奏楽部	吹奏楽
あぐり	学外の農業体験と援農活動
ESS	英会話を楽しむ
まんじゃれ	調理と食事
煎茶サークル	煎茶
N.T.K	野菜づくり
お花のサークル	小原流いけばな
読書サークルBOOKNUTS	本の紹介
ピオトープ研究会	ピオトープ調査等
学生ノートック	子供に関するボランティア

体育実技Ⅱ(スキー集中講義)での一コマです。全くの初心者も、2日目にはゴンドラで山頂まで登り、滑ってきました。



於：梅池高原スキー場（長野県）  
平成21年1月7日～1月9日

## 最終講義

平成21年3月をもって石川県立大学を退職される丸山利輔学長（演題「石川県立大学の設立に携わって」）および杉浦明教授、泉徳和教授、橋本岩夫准教授の最終講義が平成21年2月17日に行われました。各氏の石川県立大学への多大なる貢献に深謝いたします。



杉浦 明教授  
「“渋きぞうまき” くだものがたり」



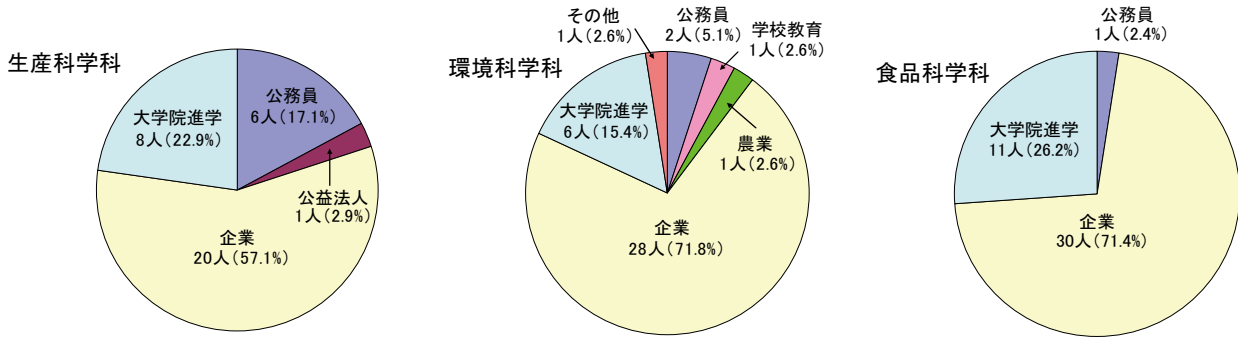
泉 徳和教授  
「動物繁殖学の内と外」



橋本岩夫准教授  
「農業用水の多面的効果  
～地域用水機能について～」

# 卒業生の進路

平成20年度・第1期卒業生の就職・進路状況です。学生、就職支援室、教員が一丸となって就職活動に取り組んだ結果、97%という高い就職率となりました。また、卒業生のうち、21%が大学院に進学し、より高度な技術者・研究者をめざすことになりました。



石川県庁、石川県警、金沢市役所、労働基準局、いしかわ動物園、全国農業協同組合連合会、吉田酒造店、高澤食品本舗、日本曹達、バイエル薬品、共立金属、竹中産業、北陸シジシー、奈良先端科学技術大学院大学、本学大学院など

石川県教員、石川県警、野々市町役場、日本紡績検査協会、J A石川県中央会、日穀製粉、多田プラスチック工業、日本電産、日本ソフテック、ゆうちょ銀行、藤コンサル株式会社、セントラルコンサルタント、環境開発、本学大学院など

佃食品、ハチパン、米心石川、アルプ、羽二重豆腐、敷島製パン、ニチレイフーズ、王子コーンスターチ、カネ美食品、清水食品、協和薬品、一正蒲鉾、J A金沢市、京都大学大学院、名古屋大学大学院、富山大学大学院、本学大学院など

# 平成 21 年度入学試験状況

## 一般選抜

区分	学科	募集人員 (人)	志願者数 (人)	志願倍率 (倍)	受験者数 (人)	受験倍率 (倍)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)
前期	生産科学科	22	70	3.2	66	3.0	33	2.0
	環境科学科	22	65	3.0	64	2.9	31	2.1
	食品科学科	22	58	2.6	53	2.4	33	1.6
	計	66	193	2.9	183	2.8	97	1.9
後期	生産科学科	10	91	9.1	34	3.4	10	3.4
	環境科学科	10	92	9.2	39	3.9	18	2.2
	食品科学科	10	61	6.1	22	2.2	13	1.7
	計	30	244	8.1	95	3.2	41	2.3
	合計	96	437	4.6	278	2.9	138	2.0

## 推薦

区分	学科	募集人員 (人)	志願者数 (人)	志願倍率 (倍)	受験者数 (人)	合格者数 (人)	実質倍率 (倍)
推薦入学 A	生産科学科	6	8	1.3	8	6	1.3
	環境科学科	6	9	1.5	9	6	1.5
	食品科学科	6	17	2.8	17	6	2.8
	計	18	34	1.9	34	18	1.9
推薦入学 B	生産科学科	2	1	0.5	1	0	—
	環境科学科	2	0	—	—	—	—
	食品科学科	2	0	—	—	—	—
	計	6	1	0.2	1	0	—
	合計	24	35	1.5	35	18	1.9

## 大学院第1次募集

区分	専攻	志願者数 (人)	一般 (人)	社会人 (人)	留学生 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
前期課程	生産科学	3	3	0	0	3	3
	環境科学	7	7	0	0	7	7
	食品科学	10	9	1	0	10	10
	応用生命科学	5	5	0	0	5	5
	計	25	24	1	0	25	25
後期課程	自然人間共生	3	0	3	0	3	3
	生物機能開発	3	0	3	0	3	3
	計	6	0	6	0	6	6

## 大学院第2次募集

区分	専攻	志願者数 (人)	一般 (人)	社会人 (人)	留学生 (人)	受験者数 (人)	合格者数 (人)
前期課程	生産科学	0	0	0	0	—	—
	環境科学	0	0	0	0	—	—
	食品科学	1	1	0	0	0	—
	応用生命科学	2	2	0	0	2	2
	計	3	3	0	0	2	2
後期課程	自然人間共生	2	0	2	0	2	2
	生物機能開発	0	0	0	0	—	—
	計	2	0	2	0	2	2

## 大学の動き

- 10月16日 公開講座
- 10月25、26日 第4回響緑祭
- 11月15日 推薦入学試験
- 1月24、25日 大学院入学試験
- 2月17日 最終講義
- 2月25日 前期日程試験
- 3月5日 学内提案型プロジェクト研究実績発表会
- 3月12日 後期日程試験
- 3月14、15日 大学院(2次募集)入学試験
- 3月21日 第1回卒業式・学位授与式
- 4月6日 入学式

## << 編集後記 >>

IPU News (石川県立大学広報) 第8号をお届けします。第8号の編集に第1期の卒業式と大学院開設という節目を迎えました。第1期卒業生は立派に社会人として巣立っていきました。あるいは、高度な研究者・技術者となるため大学院に進学していきました。そのことに何よりほっとしています。また、大学院の開設を迎え、より良い大学にするため、教職員一同、切磋琢磨することを誓っているところです。

石川県立大学広報委員会